



次代を拓く

建設コンサルタント

2024年9月期は売上高、営業利益ともに過去最高で、13年連続の増益を達成した。今期も滑り出しは順調だ。国内は防災・減災や国土強靱化に関連する事業に期待し、

オリエンタルコンサルタンツ

野崎 秀則社長

革新、変革、挑戦で価値創造

海外のインフラ需要も堅調に推移するとみている。

22年に策定した「2030年ビジョン」では30年9月期に売上高1100億円、営業

利益70億円を目標に設定した。「社会価値創造企業」をス

ローガンに掲げ、革新、変革、挑戦の3点に注力していく。

具体的には、先進技術の研究開発による革新、DXを駆

使した事業モデルの変革を推

進する。建設コンサルタント事業を主体としながら、国内

外での積極的な投資により地域課題の解決に挑戦する。

投資事業の一環で、指定管理者として運営管理している

長井浜公園（福岡県行橋市）に体験型宿泊施設「そらすな」

を整備した。鹿児島県指宿市には農産物の冷凍加工工場を

つくり、2月に開業した。地元産野菜の冷凍加工品を全国

に提供し、地域経済を盛り上げていきたい。

海外でもインドネシアでエビの養殖事業や、生鮮食品の

鮮度を保って流通させるコールドチェーン（低温物流網）

設備の導入を進めている。ブラジルでは再生可能エネルギー

ー由来のグリーンアンモニアの製造事業を展開中だ。海外

事業は現在政府開発援助（ODA）案件が中心だが、今後

さらに増えると想定される民間事業を含めた非ODA案件にも力を入れる。